

6月定例記者懇談会

令和7年6月23日（月）

11時00分～11時30分 203会議室

出席者：みのわ新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビ、信濃毎日新聞、中日新聞 事務局：鈴木、小笠原、濱
--

町長月間予定（総務課）

○月間行事予定の説明

町の主なトピックス（担当課PR分）

- 健康ポイント事業について（健康推進課健康づくり支援係）
- みのわ祭りについて（商工観光課観光係）
- 「マンガの聖地トキワ荘を体験しよう」について（箕輪町郷土博物館）
- 箕輪町ふるさと大使について（企画振興課みのわの魅力発信室）
- 箕輪町発足70周年記念特別講演会について（企画振興課みのわの魅力発信室）

町長コメント

1 健康ポイント事業について（健康推進課健康づくり支援係）

○概要

別紙資料にて説明

令和7年度箕輪町健康ポイント事業 参加者募集！

令和7年6月23日記者懇談会資料
健康推進課 健康づくり支援係

目的：健診（検診）の受診や健康づくりイベントへの参加などでポイントを付与、
楽しみながら健康になって、みんなで「健康長寿の町」を目指す。

対象者：18歳以上の箕輪町民もしくは町内在勤者

事業期間：令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火）

申込方法：健康推進課4番窓口、または「ながの電子申請」にて申込み

令和7年度の特徴

☆運動記録用紙

テーマ「箕輪町発足70周年～70年の歩みをたどろう～」
箕輪町70年の歩みをたどりながら、楽しくゴールを目指す

☆減塩チャレンジ

「減塩食品」を活用することで健康づくり
減塩食品購入のレシート提示で50ポイント！

☆週1回社会参加！いきいき活動チャレンジ

社会参加をすることで心も体もいきいき！

☆景品プレゼント

健康ポイント1,000ポイント集めると1,500円相当の景品と交換

☆抽選会実施

当選者30名に3,000円相当の景品をプレゼント！



（担当）この事業の目的は、健診（検診）の受診や健康づくりイベントへの参加などでポイントを付与、楽しみながら健康になって、みんなで「健康長寿の町」を目指すものです。

今年度の事業の特徴は次のとおりです。

- ・箕輪町発足 70 周年：箕輪町の 70 年の歩みを楽しみながらたどっていただき、ゴールを目指します。
- ・減塩食品購入によるポイント付与
- ・社会参加によるポイント付与

2 みのわ祭りについて（商工観光課観光係）

○概要

別紙資料にて説明

資料

〈特集〉
第36回 みのわ祭り
7/26
15:00～21:00
※小雨決行・荒天中止

2025 みなWAになって

会場
祭り会場 | 松島仲町・通り町地区周辺
国道153号線松島駅入口側号線から国道322号の側
町道6号線 町道366号から町道322号の間
町政70周年記念 納涼花火大会 |
手筒花火・音楽花火：みのわ天竜公園
打上花火：番場原公園第2グラウンド

時間
祭り会場 | 15:00～21:00
納涼花火大会 | 19:45～21:00
手筒花火・音楽花火 | 19:45～
打上花火 | 20:15～

2025みのわ祭り 実行委員の皆さん

スケジュール (予定)

松島仲町(メイン会場)
15:00～15:50 オープニングイベント
(ポスター・うちわ表彰式・部会表彰式も実施予定)
15:50～16:50 町発足70周年記念イベント
16:50～17:50 町民踊り(賛輪ワクワクソング・賛輪天竜音頭)
18:00～20:45 ステージ発表
18:00～18:45 みこし大行進
17:30～18:00 ①本鼓ステージ
19:00～20:10 ②本鼓ステージ
15:00～21:00 出店・キッチンカーエリア
時間非公開 商工会「宝投げ」

みのわBASE
みのわ消防防災フェス(賛輪消防団)

みのわ天竜公園
19:45頃～ 手筒花火・音楽花火
番場原公園第2グラウンド
20:15頃～ 打上花火

この他にもイベント盛りだくさん!
※時間は前後する場合があります。
※イベント内容は変更となる可能性があります。

会場MAP
※駐車場は、お預りの
開催期間中は利用でき
ません。駐車場スタッフ
の指示に従って駐車
してください。

交通規制区域・時間
祭り会場 | 松島仲町・通り町地区周辺
13:00～22:00
納涼花火大会会場 |
打上花火 | 番場原公園第2グラウンド
19:30～21:30
手筒花火 | みのわ天竜公園
天竜公園東側天竜河川敷道路:
8:00～22:00

(担当) 今年のみのわ祭りは7月26日(土曜日)に開催し、昨年同様 15時から21時まで予定しています。荒天の場合は、翌日順延です。

今回、町発足70周年ということで、現在実行委員会で記念イベントについて企画しています。イベントについては、町民の方が参加できるようなものを考えており、決まってきたところで周知していきます。

花火についても打上時間を15分繰り上げ、天竜公園でミュージックスターマインを今回特別に企画しています。

3 「マンガの聖地トキワ荘を体験しよう」について (箕輪町郷土博物館)

○概要

別紙資料にて説明

資料

箕輪町発足70周年記念博物館事業

マンガの聖地 トキワ荘を体験しよう！

目 的

箕輪町の交流都市である東京都豊島区には、かつて多くの著名な漫画家が住んでいたトキワ荘というアパートがありました。今回、トキワ荘の門を復元したダンボール製の門を豊島区より借用して博物館 図書講座室前に復元展示し、図書講座室内にトキワ荘の部屋の雰囲気を再現し、トキワ荘ゆかりの漫画家の作品を紹介することにより、マンガというサブカルチャー？についての理解を深めることを目的とします。

開催期間

令和7年7月29日(火)～8月24日(日)

場 所

箕輪町郷土博物館 図書講座室

- ①トキワ荘門ダンボール再現セットの展示
- ②トキワ荘の一室の雰囲気を再現
- ③トキワ荘ゆかりの漫画家とその作品の紹介

...博物館内で、手塚治虫や藤子不二雄などのマンガ(約50冊)を読むことができます！

中には、あまり見ることができないレアなマンガも...



トキワ荘門ダンボール再現セット(イメージ1)



トキワ荘門ダンボール再現セット(イメージ2)

関連イベント

①豊島区に箕輪の子供たちの塗り絵を飾ろう

...7月7日の七夕にあわせて、町内全小学校の児童(1210人)一人ひとりに専用の塗り絵を塗ってもらい(願い事を書く)、豊島区に送付して、トキワ荘ミュージアム周辺に飾っていただきます(7月4日~7日)。



塗り絵短冊(※はがき大サイズ)

②ワークショップ トキワ荘ボックス(ペーパークラフト)作り

内 容 トキワ荘の形をした小物入れ(ペーパークラフト)を作る体験

日 時 令和7年8月11日(月・祝) 9時~、11時~、13時~、15時~

対 象 一般

定 員 24名(6名×4回)

申 込 事前申込制(定員になり次第締め切り)

申込開始日 7月30日(水)9時~

費 用 500円(材料費)



↑トキワ荘ボックス

(引用元: <https://www.toshima-mirai.jp/tokiwaso/gift/index.html>)

塗り絵飾りつけの様子(令和6年度)→



(担当) 豊島区から段ボール再現セットを借用し、博物館図書講座室前に復元展示し、トキワ荘の部屋の雰囲気再現し、トキワ荘ゆかりの漫画家の方とその作品を紹介することによって、漫画というサブカルチャーについての理解を深めることを目的として行います。

関連イベントとして、7月7日の七夕にあわせて、町内全小学校の児童(1,210人)一人ひとりに専用の塗り絵を塗ってもらい、豊島区に送付して、トキワ荘ミュージアム周辺に飾っていただきます。今週中に豊島区に

もう一つ、ワークショップということで、トキワ荘の形をした小物入れ(ペーパークラフト)を作る体験を8月11日に開催します。

4 箕輪町ふるさと大使について（企画振興課みのわの魅力発信室）

○概要

別紙資料にて説明

資料

箕輪町ふるさと大使について

- 1 設置の目的
町の魅力を広く効果的に発信することにより、町の知名度の向上とイメージアップを図るため。
- 2 大使の役割
 - （1）町の広報及び宣伝
 - （2）町の行政施策に対する提言または情報提供
 - （3）町が要請した会議等への出席
 - （4）その他
- 3 委嘱
次に掲げる者の中から町長が委嘱する
 - （1）町外で活躍している町出身者
 - （2）町にゆかりがある者
 - （3）その他町長が特に認める者

ふるさと大使予定者



大槻 達也 氏
学校法人桜美林学園 理事長
沢出身



井上 誠 氏
特定非営利活動法人プラット庄内 理事長
庄内地区・箕輪町交流協会元会長

▶**委嘱式**

- ・日時
令和7年7月25日（金）午後2時～3時
- ・場所
箕輪町役場 203会議室
- ・出席者
ふるさと大使予定者：大槻達也氏、井上誠氏
箕輪町：白鳥町長、入杉議長、浦野副町長、小林教育長
みのわの魅力発信室
- ・内容
委嘱書交付、名刺贈呈、あいさつ、記念撮影 ほか

（担当）現在箕輪町ふるさと大使に11人の方が大使としてご活躍をいただいております。町の魅力を広く効果的に発信することによりまして、町の知名度の向上、またイメージアップを図るために、こちらのふるさと大使というものを設けています。大使の方の役割は、町の広報や宣伝、また町の政策に対する提言、情報提供などがございます。今回新たにお二人に委嘱するものです。

○町長コメント

広島平和学習について、今週から事前学習が始まりますが、今年度も広島に小中学生を派遣することになっており、事前学習が極めて重要ですので、2回ほど研修の機会を設けていきたいと思っています。

今のところ小中学生親子を含めて24人が参加をすると予定になっており、戦後80年の節目の年ですので、小中学生にとっては大変貴重な経験になると思っています。

私も昨年行かせていただき、暑くて大変な式典でしたが、戦争に対する考え方を改めて考える機会にもなりました。

子どもたちにそんな機会を与えるということと、帰ってきてそれぞれの学校や全体で研修結果発表等をしますので、戦後80年の一つの記念行事になると思っています。

昨日「菜の花みのわクリニック」落成式が行われ、7月1日に開院します。

町としても開業支援をしてきたことありますが、何より待望の皮膚科、産婦人科を標榜していただき、これまでは町民の皆さんが遠くまで通院されていたので、大変嬉しく思います。

また、産婦人科については、13時半から18時半まで診療するということで、働いている方にとっては本当に朗報だと思います。なかなか勤務時間中に行けない方が多く、苦勞された方もいらっしゃるのと伺っており、先生もそのようなことを考えていただいて、診療時間を延ばしていただいているということで、大変嬉しく思います。

医療に関わる部分は町民にとっては大変大事な分野ですので、本当ありがたく思っています。

残りは耳鼻咽喉科ですが、何とかこれも今後の課題にしていきたいと思います。

もう1点、議会6月定例会でコメ問題について、かなり議論されました。

国の方でも、生産調整や目安値の問題をどうするかという議論が始まると聞いていますので、それを含めてということになりますけれども、町は今の生産調整や目安値そのものを廃止するか受け入れないということではなくて、価格の安定とか他の作物への転換の促進になれば今の政策が必要ですので、それはもちろん応援していきますけれども、今の状況が農家の皆さんにとって、本当に農業経営を続けるためのインセンティブというか、意欲というかそういったものがあるかという、なかなか厳しい部分があります。特に目安値を達成してきた地域ですので、他の地域をみると、不平等、不公平という思いが農家の皆さんも強かったということもありますので、あまり強い意味での誘導はしないつもりです。

これは再生協議会で毎年決めていくことになります。今年の状況がどんな収穫量になるかにもよって価格変動がどうなるかが、いくら読めてくるかもしれませんが、そういったところを踏まえながら考えていきたいと思っています。

生産調整を全くしないとかそういうつもりは全くありません。

コメの高騰問題とは別に、農家の皆さんがやりがいのある方向に持っていければと思っています。これからの課題だと思っています。

コメ不足の問題がこれからどうなるかはよくわかりませんが、一つは町内の小中学校の給食用のお米について、町内産の確保、町内産でできなければ、今も上伊那産を確保していますけれ

ども、それが安定供給できるかとか、非常に高くなったりした場合どうするかという問題があって、需要見込み量を議会では 27t と申し上げましたが、そういったものを町として確保できるかどうかということについて今 J A と相談をさせていただいています。

できれば、確保していきたいと思っています。

また、今後の課題ですが、今コメ不足で非農家の皆さんが購入することができない実態が多く発生しているのは事実でして、これを少しでも和らげる方法がないかということは、今までのシステムの中でなかなか難しく、できるかどうかこれから少し検討したいと思っています。消費者が年間にどこかで契約ができるかとか、そんなことできる簡単にできるとは思いませんけどそういった議論が必要だと思います。

もう 1 点、3 回シリーズで行っている気候町民会議について、6 月 28 日に 3 回目の会議を開催し、いよいよまとめの段階になります。

この会議は県内でも昨年の松本市に次いで 2 例目、全国でも二十数か所しか行っていない会議形態ですが、信州大学の学生も含め多くの若者の参加があり、大変議論が深まってまいりました。

しかし、箕輪町において 2030 年 CO2 の 60%削減というのが非常に厳しいハードルになっているので、町や事業所等の皆さんが、どの程度できるかっていうことを言うのはなかなか難しい状況があり、町民全員でこのゼロカーボンを目指すにあたり、どんな仕組みができるかという議論をしています。いよいよ 3 回目です。非常に楽しみにしていますし、7 月に行われるイベントの方で報告できることになっているので、それを待ちたいと思っています。そして、それらを受けてゼロカーボンシティ宣言から 3 年経過し、4 年目に入っていって、何とか 2030 年を目指した取組みを強化したいと思っています。

このような会議形態は、今までのような専門家の会議ではありませんので、初めて勉強して議論が始まるという状況ですけども、非常に町民の皆さんの意見を聞くという意味ではいい会議方式だと思いました。

この気候町民会議は、気候とか気候変動問題だけではなく、いろんなところで活用できる方策だと思いますし、若者が出てきていただけるということが非常にいいと思いましたので、またこのような方式を活用していきたいと思っています。

以上です。

○質疑応答

（記者）コメの話ですけど、生産調整それから目安値については、無視するものじゃないというようにおっしゃいましたが、その一方で去年の例なんかでも毎年どうしてもある地域がどうしても目安値よりかなり大きくなっているようなことは確認しました。それで今年については南側の村長さんは議会で一応その目安値から超えたとしても特に調整をしないということを申し上げたらしいですけど、町は生産調整の対応を待つということでしょうか。

（町長）生産調整を待つです。あえて強制や指導をしてほしいということはいたしません。

全体としてみると基本的には価格の安定とか今回は 40 万トンを増えていることがあり、それを町として当たり前だという状況ではないと思っています。そこには穏やかに落ち着く場所があ

と思っています。

（記者）コメの町内産の話について、現状は上伊那産で 100%賄っている状況ですが、町内産を学校用給食に確保する目的は、地産地消、安定供給がメインでしょうか。

（町長）そうです。上伊那産は当然の前提にしてあるので、それがなくなるということは基本的にはないです。できれば町内産にしたいと思っていますが、カントリーで上伊那産が一緒になってしまう状況なので、極めて難しいですが、何とか給食用 27 トンだけの話ですので、それはできるのではないかとということを想定して J A と相談させていただいています。